

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

事業所名:みらいずジュニア横手

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%	0%	広い教室を利用してパーテーション等で仕切り、個別・集団で活動出来るよう環境作りに努めている。
	2 職員の配置数は適切であるか	100%	0%	0%	児童の状況に合わせて検討し合い、対応している。 他事業所の協力を得ることもある。(送迎・児童対応等)
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%	0%	0%	施設内は見通しの良い段差のない造りになっており、トイレもバリアフリー対応になっている。 着替え、静養室、立ち入りできない部屋などはイラストを掲示して視覚で分かりやすいようにしている。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%	0%	0%	ミーティングの時間が十分に確保できるよう時間調整をしたり、参加できなかった職員への申し送りを口頭だけでなく回覧形式にしたりしている。 ミーティング等にて児童の様子を共有し、次の利用時の療育に繋げている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施し、結果をもとに改善できるよう努めている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	0%	みらいずのHPにて公表している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0%	0%	100%	現在、第三者による外部評価は無いが、評価してもらうことで業務改善に繋げられるよう取り組みを検討していく
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	0%	学校体育の全体研修を行ったり、事業所内でも模擬授業を行なっている。 必要に応じて外部研修を受けたり、社内では定期的に各種研修を行ったりして全職員が学べる機会が設けられている。(集合研修、オンライン研修の活用)
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	担当者会議や保護者面談などを元に支援計画の作成をしている。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%	0%	0%	みらいず全事業所共通システムのHUGを使用している。 保護者様に向けての日々の活動の様子を伝える他、児童についての情報、日々のケア記録、個別支援計画等を入力し、職員間での共通理解ができるようにしている。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	0%	社内のプログラム作成チームに各事業所の職員が参加している。 検討した内容を事業所で実施、改善しながらプログラムを立案し、活動を提供できるようにしている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	0%	月に1回にプログラムの見直しを行い、大集団・個別に合わせて教材を準備している。 全体、個別共にそれぞれに合った活動プログラムが提供できるように、職員間で相談しながら内容を改善、提供している。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%	0%	0%	ミーティングで今日の役割を確認している。 平日、休日、長期休暇に応じて、基本の活動内容が決まっているが、詳細については職員間で話し合っ計画を立てている。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	苦手意識のある部分は個別活動で意欲と自信に繋がるように、誰かと活動する関わり方や楽しさは集団活動で実感することができるようになど、個人に合った支援ができるよう立案している。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	日々のミーティングや担当者会議内で、個々の業種や多方面からの視点を持って意見を出し合えるような環境づくりに配慮している。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%	0%	児童について得られた情報や支援について職員間で共有し、支援提供に活かせるようにしている。 毎日振り返り(できない日は翌日)を行い、児童の情報共有を行い、療育へと繋げている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	日々の記録は必ず取り、支援の検証・改善に繋げている。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	支援計画の見直し・改善を定期的に行い、統一した支援ができるようにしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	100%	0%	0%	5領域に合わせた個別支援計画を作成し、支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	0%	児童については職員間で意見をまとめ、事業所の担当者会議には管理者が主に出席している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%	0%	0%	学校行事等は保護者様より情報提供していただいている。児童の様子については、必要に応じて、又は送迎時に先生方と情報共有をさせていただいている。
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%	0%	0%	必要に応じて、直接お話をさせていただいたり、相談員を通して情報共有をさせていただいている。
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0%	0%	100%	現在、該当する児童がいないので実行できていないが、必要になった時は情報共有を行っていく。
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%	0%	0%	療育センターや医療機関と必要に応じて情報共有を行い、いただいた助言は支援内容に検討して取り入れていく。相談員がモニタリング等で来所した際に児童の様子を共有している。
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0%	0%	100%	障害のない児童との交流や活動機会について、今後検討していきたい。
	26	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%	0%	0%	市の子ども支援部会に管理者が参加している。行政・他事業所の状況について知ることができ、学ばせていただいている。
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	面談や送迎時に児童の様子を伝えている。誤解のないよう、話す雰囲気づくりや言葉選びに配慮している。対面が難しい保護者様にも連絡帳やLINEなどを利用して伝えるようにしている。
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0%	100%	0%	日々のやり取りの中で、発達や子供との関わり方についてお話をすることがある。ジュニア横手ではペアトレを開催したことがないので、検討し開催できるようにしたいと思っている。
	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	契約時にお伝えし、不明点や疑問点についてはその都度教えてほしいとお話している。
保護者への説明責任等	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%	保護者様から悩みや質問があった場合は丁寧な聞き取りを心がけ、状況に応じて面談の場を設ける等して対応している。また、得た情報は職員間で共有し支援に取り入れている。
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0%	0%	100%	現在は保護者会等はないが、お互いの悩みや思いを話し合える場を検討していく。(ペアレントトレーニングも保護者交流の良い機会になるかもしれない)

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	相談や申し入れがあった場合は、状況確認・体制について等迅速に対応するようにしている。
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	LINEでの周知やポスター掲示をしている。
	34	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	保護者様には必要事項について承諾をいただいている。守秘義務を徹底している。
	35	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	相手に対し分かりやすく、誤解のないよう、丁寧な説明を心がけている。
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0%	100%	0%	活動の他、地域について知る目的も兼ねて体育館、施設、公園等に出かけている。地域住民との交流設定ができていないので、今後検討していきたい。
非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%	0%	0%	社内研修を行い、職員間で各マニュアルについて確認している。保護者様には、避難訓練等を行っていることを連絡帳等で知らせている。
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	避難訓練(火災、自然災害等)を実施している。非常袋の点検も行っている。
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	0%	虐待防止委員会を実施している。全職員が虐待防止研修に参加している。
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%	0%	0%	身体拘束について研修を受けている。保護者様へは契約時に説明している。
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	0%	0%	おやつ提供がある為、保護者様に食物アレルギーの有無を確認している。
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	0%	100%	0%	ヒヤリハット報告書はないが、ヒヤリハットに当る事案は職員同士共有し、改善の為の対応をしている。